

『アメリカとアジアとの新たな国際関係を展望する』

日 時：平成29年6月5日（月）14:00～16:20

会 場：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター5階）

対 象：どなたでも（定員 100 名） 参加料：無料

プログラム

【講 演】 各国に精通した専門家が東アジア情勢を読み解く



1 「アメリカ情勢と日本の対応」 ～トランプ政権と日本の外交～

講師：県立広島大学客員教授 福岡 政行（ふくおかまさゆき）氏

東北福祉大学特任教授，白鷗大学名誉教授

テレビ番組をはじめメディアにおいて歯に衣着せぬ論舌を展開する講師が，トランプ政権の下，対米環境，国際環境が不透明な中で，日本の外交と政治・経済のゆくえを見通す。

2 「アメリカ情勢と中国の対応」 ～ドナルド・トランプと習近平～

講師：富山県環日本海経済交流センター長 藤野 文悟（ふじのふみあき）氏

伊藤忠常務取締役・中国総代表，亜細亜大学客員教授等を歴任

米中首脳会談を受けて，トランプ，習近平がどう出るか予測不可能と言える。日本の経済人は何に注目して，いかに行動すべきかを考える。



3 「アメリカ情勢と台湾の対応」 ～トランプ政権の誕生歓迎から実質的利益の確保へ～

講師：県立広島大学准教授 上水流 久彦（かみづるひさひこ）氏

東アジア，台湾の文化，社会を専門分野とし，毎年広く東アジアで現地調査を行なう

トランプ政権誕生は変化を期待する台湾社会においておおむね歓迎されたが，台湾が一番警戒しているのは，米中関係において台湾が「取引」材料になること。米中に対してバランスのとれた政策に苦心する蔡英文政権。



4 「アメリカ情勢と朝鮮半島の対応」 ～韓国を外交を中心に～

講師：県立広島大学名誉教授 原田 環（はらだたまき）氏

朝鮮近現代史、近代東アジア国際関係史を専門とする日本の歴史学者

韓国は米国を中心軸とする日米・米韓軍事同盟に連なっているが，朴槿恵政権は歴史認識問題と慰安婦問題をテコに日本をたたき一方で，経済と北朝鮮の核開発抑止を期待して中国に傾斜したが失敗に終わった。



【パネルディスカッション】 混沌とした東アジア情勢の下，企業・団体の行動を考える



コーディネーター：一般財団法人ひろぎん経済研究所理事長 角倉 博志（すみくらひろし）氏

パネリスト：講師（4名）

講演をしていただいた講師に，東アジアがアメリカとどのように向き合うのか，今後の新たな国際関係を展望し，経営者・経済人の行動について語り合ってください。

申込方法

- ① 本学ホームページの次の URL 上の「申込フォーム」（右の QR コード）から直接お申し込みいただくか，または URL：<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/symposium290605.html>
- ② 「参加申込書」（裏面）に所定事項を記入のうえ，電子メールに添付してもしくは FAX でお申し込みください。

【お問い合わせ・申込先】
県立広島大学 地域連携センター〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71
TEL: 082-251-9534E-mail: renkei@pu-hiroshima.ac.jp
<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>

国際関係シンポジウム

『アメリカとアジアとの新たな国際関係を展望する』

日時：平成29年6月5日（月）14:00～16:20

対象：どなたでも（定員 100 名）

会場：サテライトキャンパスひろしま

広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター 5階

アクセスマップ



【JR広島駅から】

路面電車（広島電鉄）

◆広島港行 「本通り」下車，徒歩約5分

◆西広島行，江波行，宮島行

「紙屋町西」下車，徒歩約3分

【広島バスセンターから】

徒歩 約3分

【アストラムライン本通り駅から】

徒歩 約5分

参加申し込み（メールもしくはFAX）

メール: renkei@pu-hiroshima.ac.jp

FAX : 082-251-9405

氏名（必須）	
ふりがな（必須）	
電話番号（必須）	
メールアドレス	
会社名	
所属・役職	
年齢	

〒734-8558
広島市南区宇品東1丁目1-71
公立大学法人 県立広島大学
TEL:082-251-9534
FAX:082-251-9405

県立広島大学 
Prefectural University of Hiroshima